

週刊 タバコの正体

先日、次のようなニュースが流れました。「喫煙者は採用しません」と宣言する企業が増えてきているという記事です。じっくり読んでみてください。

「喫煙者は採用しない」企業広がる 製薬会社に書店、靴店…

社員を新規採用する際に、「喫煙しないこと」を条件にする会社が増えている。2003年5月に施行された健康増進法で公共施設やレストランなどで受動喫煙の防止措置が求められ、分煙が進展。最近では全面禁煙の場所が増えたり、就業時間中の禁煙を進めたりする動きが広がっている。それを「もう一歩進めよう」というのだ。

「社員の健康増進」「業務効率の低下防止」が目的

旅館やホテルを運営する星野リゾートが、採用情報サイトのトップページに「あなたはタバコを吸いますか？」と問いかけて、話題になったのが2010年。「NO」を選ぶと「ようこそ！」と歓迎のメッセージが現れるが、「YES」を選ぶと、タバコを断つことを誓約することができるかと答えられない限り、募集要領のページには進めない。富山県を中心に「明文堂書店」を展開する明文堂プランナーは2011年から、同じ手法で新卒・中途採用の募集を行っている。2013年4月6日には採用情報を更新。14年春の新卒採用でも、喫煙者は採用しない方針だ。面接時に、必ず喫煙の有無を確認するという。「喫煙しない」ことを採用の条件とする会社はここ数年増えている。

製薬会社のファイザーやスポーツクラブのセントラルスポーツ、ソフトウェアのAcroquest Technology、半導体機器製造などのエムテック マツムラ、モバイル広告代理店のライブレボリューション、北陸3県を中心に30か店の靴チェーンを展開するワシントン靴店(富山市)なども喫煙の有無を採用時に確認している。

J-CASTニュース 2013/5/4

この記事にはありませんが、終日全面禁煙や喫煙所がない職場、さらには勤務時間内禁煙の職場も増えてきています。

喫煙者にとっては、こんな職場では働きたくないでしょう。だからといって、タバコが吸える事を優先して職場を選ぶというのはどうでしょう。極端に言えば、タバコをとるか仕事をとるか、という選択をしなくてはならなくなります。それどころか、「喫煙者は採用しません」という企業が大半を占める時代が来るかもしれません。

今、タバコに興味がない君たちにとっては、このような状況は全く気にしなくてもOKです。今のまま、タバコを吸わなければいいだけですから。